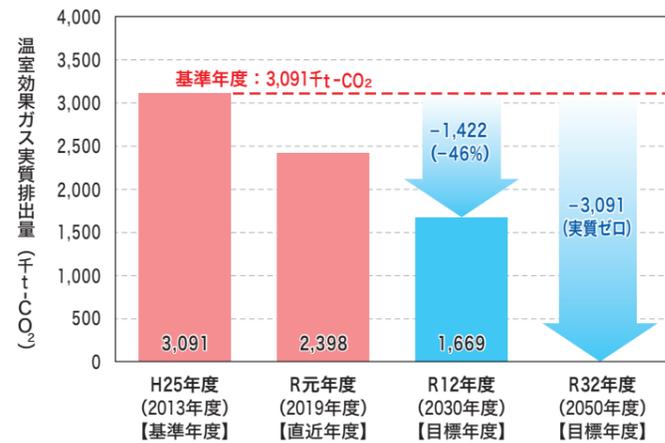


区域施策編の取組

尾道市の温室効果ガス排出量の削減目標



削減目標

令和12年度における温室効果ガス排出量を平成25年度比で **46%削減**

令和32年度における温室効果ガス排出量を **実質ゼロ**

令和元年度の尾道市の温室効果ガス排出量は2,398千t-CO₂であり、基準年度の平成25年度(3,091千t-CO₂)から22%減少しています。目標達成のためには更に削減を進める必要があります。本計画では、5つの基本方針を掲げ、以下に示す各基本方針別の取組分野について、市民・事業者・行政の協働により具体的な施策を推進していくこととします。

【基本方針1】 省エネルギー対策等の推進

徹底した省エネルギー化等による温室効果ガスの排出削減

- 省エネ機器等の普及啓発、導入促進
- 次世代自動車への切替促進

- 4R運動の推進
- 食品ロス削減
- プラスチックごみ削減



【基本方針2】 再生可能エネルギー等の利用促進

再生可能エネルギー等の積極的な利用によるエネルギーの脱炭素化

- 新築・増築時における再エネ化の推進
- 太陽光発電設備、蓄電池の導入促進
- 環境に配慮した電力調達の実施、促進など



【基本方針3】 カーボンサイクルの推進

二酸化炭素の吸収源対策等によるカーボンニュートラルの実現

- 森林の保全・育成
- 森林資源の有効活用
- 藻場の保全・造成
- カーボンリサイクル製品等の普及促進・積極導入
- 微細藻類油脂等を原料とするバイオディーゼル燃料の利用検討



【基本方針4】 気候変動への適応

将来も見据えた適応策の推進による強靱化と適応力の強化

- 気候変動の影響や適応に関する情報の収集・発信
- 適応策推進のための体制整備
- 高温耐性品種の普及促進
- 防災マップ等を活用した防災情報の啓発
- 各種媒体を活用した避難情報の伝達
- 熱中症予防や対策の普及啓発 など

気候変動適応の概要	農林水産業		自然災害・沿岸域	
	現状・将来予測	考えられる適応策	現状・将来予測	考えられる適応策
	品質低下 収量低下 コメ (白未熟粒) リンゴ (日焼け)	高温耐性品種への変更 作付け時期の調整 品質低下防止のための日よけ設置	土砂災害 浸水被害	ハザードマップ (洪水被害予測地図) の確認、避難経路の確認 治水安全度の向上のためのハード整備 雨水貯留槽など

出典：気候変動適応情報プラットフォーム「A-PLAT」

【基本方針5】 地域の脱炭素化・環境整備

地域の脱炭素化や環境整備による将来ビジョン実現のための基盤づくり

- 都市機能の集約化、公共交通機関利便性向上の促進
- エネルギーの地産地消、カーボンオフセット、主体間連携
- 環境学習、環境イベントの開催、「尾道 COOL CHOICE プロジェクト」を通じての連携強化・取組拡大



環境政策課 (☎0848-38-9434) 本計画の詳細は、市HPをご覧ください。▶

